

令和3年度 第1回碧南市総合教育会議 会議録

1 日時 令和3年6月24日（木） 午後3時30分から午後4時45分まで

2 場所 碧南市役所4階 庁議室

3 出席者

(1) 碧南市長

(2) 教育委員会

委員 伊藤正幸、委員 高橋世利子、委員 池田香代子、

教育長 生田弘幸

(3) 事務局職員

総務部長 奥谷直人、教育部長 岡崎康浩、経営企画課長 杉浦英樹、経営企画課主

幹 堀田葉子、学校教育課長 小澤 徹、経営企画課政策推進係長 鈴木洋平、経営

企画課政策推進担当係長 亀島有香

4 傍聴者 0人

5 議題

(1) 1人1台端末を活用して、碧南市の小中学校が目指す学習について

(2) 意見交換

市長あいさつ

(市長)

こんにちは。日頃より碧南市の子どもたちのために色々な形でご尽力いただきましてありがとうございます。教育委員の磯貝委員がお亡くなりになられたことはとても残念に思います。また皆さんが心配に思われているコロナウイルスの件ですが、今のところ学校においては先生方のご尽力もありまして陽性者は最小限にとどまっております。

本日はGIGAスクールの関連でタブレットの実演も行っていただけたということですが、先生の中でも年長の先生などは機器を使いこなすのが大変なのでは、と思います。日本は先進国に比べてこういうことは遅れているようですが、やりだしたらすぐに追いつくのではないかと考えております。それではよろしく願いいたします。

議題（１）1人1台端末を活用して、碧南市の小中学校が目指す学習について

学校教育課長が資料に基づき説明し、指導主事が端末活用の実演を行った。

（市 長）

委員の皆様、ご意見等はございませんか。

（委 員）

ドリルは、答えを覚えてしまうと正解がわかってしまうのではないのでしょうか。タブレットのハードカバーがすごいと思います。機械が結構重いと感じました。もっと軽いのかと思っただけです。

（事 務 局）

カバーが重いのだと思います。その分強度があるので、一応机から落ちても大丈夫だと聞いております。

（委 員）

英語のリスニングを聞いてみたのですが、スピーカーの問題があるのか、少し聞きづらい感じがしました。また先ほども言われていましたがドリルの問題は何度もやると答えを覚えることができるので、学習というよりは暗記して答えがあっていればよい、という風になってしまうのではないのでしょうか。

（市 長）

記述式の問題などもありますか。

（事 務 局）

ドリル学習についてはある時間内にたくさんの問題を解くというものなので、記述式のものはないです。ただ教員が用意したプリントを配り、子どもたちが記述で答えて先生へ提出し、先生が採点をする、という使い方はできます。今までノートに書いていたものをタブレット上に書いて先生へ提出するという形をやっていくことはできます。

（委 員）

子どもにタブレットの話を書きましたら、すごく喜んでいました。調べ学習をしたり、ポジショニングで他の生徒の意見がわかる、と報告してくれました。

(市長)

タブレットは1度充電すると何時間も持ちますか。

(事務局)

使い方にもよりますが、授業もずっと使用している訳ではないので、1日2日はまずもつと思います。

(市長)

動画も流せますか。

(事務局)

はい。教材の中に動画教材もあります。インターネットも繋げますし、ユーチューブもみられる設定にはなっております。

(委員)

以前、タブレットが導入されることにより子どもたちへの資料の配布や、プリントの回収などが効率よくなり、授業の進み具合も効率的になるということを雑誌などで見たのですが、友達の意見がわかるなど、タブレットが集まると色々なことができるのだと思いました。現在、色々な試行をされていると思いますが、発展性とか、もっとこのようなことができるのではないかと考えられることはすべて網羅されているのでしょうか。

(事務局)

何年もタブレットを使用しているところに比べればまだ駆け出しですので、今はそこに追いつけ、という状態です。この先も使い方の可能性はもっと広がっていくと思いますので、どこまで網羅されているかという正直わかりません。子どもたちの方が頭が柔らかいので変わった使い方を見つけてくれると思います。

(市長)

利用した履歴は残っているのですか。

(事務局)

残っております。ドリルの履歴は当然残りますし、他のものも履歴として残り、担任の先生が見られるようになります。

(委員)

勝手にアプリは入れられないのですか。

(事務局)

入れられません。教員が授業や活動で使用する際に必要であれば教育委員会やICT支援員に申請をしていただき、問題がなければ入れることができます。

(市長)

音声入力の機能はありますか。

(事務局)

あります。

(市長)

持ち帰りについてはどうなっていますか。

(事務局)

現在当市は、学校で使用することに慣れる、学校で学習をすることを前提としているので持ち帰りはまだしておりません。今年度中には色々な状況を整えて、持ち帰りを始めようかと考えてはいるのですが、ただ持ち帰った時に、家でユーチューブ等をずっと見ているなど生活リズムが崩れる心配があるので、その辺も考えていきたいです。持ち帰るのが基本ではなくて、家で使う時に持って帰る。基本的には学校でというスタンスです。

(市長)

家で双方向の授業、オンライン授業もできますか。

(事務局)

オンラインの授業もできます。ZOOMやteamsなどで休んでいる子とつながるといふ活用は十分できると思います。

(市長)

家にWi-Fi環境がない子どもがいますか。

(事務局)

全市的に調査いたしましたら、約40世帯ぐらいWi-Fi環境がないと回答されました。

(市長)

そういう家庭には何か貸し出す必要があるのでは。

(事務局)

モバイルWi-Fiルーターを貸し出すことを考えております。そういった条件を整えた上で家庭への持ち帰りということになります。

(委員)

長期登校不可能な子に対しての授業はできないのでしょうか。

(事務局)

その子に対して先生が1対1で授業をすることはできないので、所属しているクラスの授業を映して流すということはあるかもしれませんが、撮影する人がいない、など様々な問題が残ると思います。現在そこまでまだ検討がされていませんが、まずは先生たちや子どもたちが使い慣れることが先決かと思っております。将来的にはその方向も考えていかなければならないと思います、ありがとうございます。

(市長)

タブレット導入によってプリントなどの紙の削減になりますね。

(事務局)

データのやり取りだけで済むということがあります。写真にしても大きく張り出さなければならなかったのを子どもたちの手元で大きく拡大をしながら写真上でものを探すということがやりやすくなります。

(市長)

ドリルでは正誤が自動的に採点されるのでしょうか。

(事務局)

今のドリルでは自動的に正誤が出て、子どもたちもすぐに結果がわかりますので、レスポンスがよいと思います。

(市長)

教科書がこのタブレット中に入れば、ランドセルが重くなくてよいのでは。

(事務局)

文科省の研究が進んでおり、学習者用デジタル教科書を中学校のある教科だけはタブレットに入れてデジタル教科書が見られるようにしていただいております。また紙の教科書にはQRコードがついていますので、それを読み込むと動画が見られるようになっております。そういう活用もできております。

議題（２）意見交換

(委員)

この間、女性の地位向上というので、生理用品を市役所で配布したのはさすがだと思います。なぜ配るのかと考えてみたのですが、トイレトペーパーも我々の頃には学校に常備されていなかったが、現在は常備されています。学校には生理用品もこれからは常備する時代なのかなと思いました。

(教 育 長)

学校にも保健室においてあります。万が一ということがありますので必ずある程度の量は置いてあります。

(委 員)

トイレなどにも普通に置いてあるといいと思います。

(事 務 局)

女性の貧困の解消の一つということで、使用期限が迫っている防災備蓄品を利用させていただくことと、この4月から碧南市もLINEを始めましたので、それを利用して特に若い方などで困っている方にも届けることができたらと考えました。また保健室にも置いて子どもが言葉で言わずに利用できるような仕組みを考え配慮していきたいと思います。

(委 員)

2026年のアジア大会でビーチバレーの誘致をしているということですが、この機会に碧南市を全国に知っていただく絶好の機会だと思います。アジア大会に向け商業だけでなく文化も含め、色々な地域の人や海外の子どもたちとの交流など、子どもたちを巻き込んだ何かがあるとよいと思います。

(市 長)

どうしても人口が少ない所はマスコミに出ないので、みんな知らないですね。10万人以下のところはよほどのことがないと話題に乗らないです。

また今度オンラインでエドモンズ市と交流をします。離れていてもオンラインでこういうことが簡単にできるようになったことは良いことだと思います。ビーチコートなども紹介したいと思います。

(委 員)

水族館も美術館も含めて宣伝していただきたいと思います。

(市長)

わかりました。他にどうですか。

(委員)

先ほど、学校を休んだ子とタブレットを使ってというお話の中で、例えば入院した子どもはもっと必要ではないか、と思うことがあります。市民病院にもWi-Fi環境があると授業がわからなくなるということはなくなるのではないのでしょうか。

(事務局)

市民病院はWi-Fi環境がまだないのですが、図書館はWi-Fiを整備していきます。Wi-Fi環境がなくてもルーターを使用するなど、色々な方法があると思っていますので積極的な利用ができればと思います。